

「関西支部県境縦走」スタート

瀬戸内海～日本海へ
日本海～太平洋へ

瀬戸内海の水を日本海へ
日本海の水を太平洋へ

山行委員 山内幸子

中央分水嶺踏査に引き続き関西支部で始めた2年8カ月掛けて徳島から佐田岬を往復した四国分水嶺踏査、それから本州に渡り友ヶ島から歩き始め加太から紀伊半島を縦断し三国岳まで到達した近畿分水嶺踏査、もう一つの分水嶺として日ノ岬から高見山までの続近畿分水嶺踏査を昨年12月高見山で万歳し無事終えました。たくさんの方々に参加していただいた関西支部の7年に渡る分水嶺踏査でした。ヤブありテント縦走ありの変化に富んだ大縦走でした。地図を見ながら忠実に分水嶺を歩く基本の山登りの面白さも再認識できました。ご協力ありがとうございました。

この分水嶺踏査で再認識した山に対する意欲をさらに広げるために支部エリアの県境を辿る「関西支部県境縦走」を今年から始めました。岡山・兵庫県境の真尾鼻から兵庫・鳥取県境の陸上岬・浦富海岸まで歩き、日本海の久美浜から太平洋の新宮まで約700kmに亘る大縦走です。関西支部の活動は京阪神が中心になり離れたエリアの方は参加しにくいのでこの県境縦走を機会にいろいろな行事に参加してもらえればと思っています。自治体やその地方に詳しい方々の協力を得、若い力の必要な時は大学山岳部の応援を得たりしながら交流を図り支部活動をさらに活性化して行きたいと考えています。

関西支部は2015年に支部創設80周年を迎えます。この記念すべき年にこの県境縦走が佳境を迎えていることは支部として喜ばしいことです。京阪神近辺の山で記念式典行事の一つを行いたいと思いますので分水嶺踏査以上の参加の方よろしく願いいたします。

また、この縦走はシンボリックなものとして水を運びながら歩きます。参加の皆様一人ひとりに短い時間でも持っていただきリレーしながら瀬戸内海の水を日本海へ、日本海の水を太平洋へ運びます。1月19日真尾鼻の海岸で取水しました。支部員・会友の皆さん、一人ひとりランナーになって水を運びましょう。ご協力よろしく願いいたします。



真尾鼻で取水中

野口様

写真が必要ならこの取水場面の写真を使って下さい。
あまりいいのありませんが。 写真提供は支部長です。